

## 中国のポリエステル需給の推移

中国の化繊情報専門サイトである中国化繊信息网が中国のポリエステル需給統計を発表した。中国で需給統計がまとまった形で発表される機会は少ないので、その概要を紹介する。

### 1. ポリエステル重合

2010年のポリエステル重合設備は年産2,833万ト。うち連続重合が2,803万ト、バッチ重合が30万トとなっている。中国では2004年～05年にかけて大増設が実施され、2003年の1,264万トが2005年には2,057万トと、2年間で63%の増設となった。それ以降は年率6.6%の割合で増設が実施されている。

生産は2,340万トでこの5年間は年平均11%の割合で拡大している。稼働率は大増設直後の2005年は60%台に低下、2006年、2007年と稼働率を上げてきたが、リーマンショックで2008年、2009年は77～78%に低下。2010年はポリエステル需要増を背景に85%と近年で最高水準に上昇した。

PETチップ輸入は2007年以降、20万ト台で推移。2010年は台湾（シェア23%）、イラン（20%）、韓国（13%）、日本（9%）からの輸入が大きい。PETチップ輸出は、2010年は7万トと大きく減少している。

表1 中国のポリエステル重合需給

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	(万ト、%)
生産能力	2,057.0	2,121.0	2,306.0	2,492.0	2,648.0	2,832.5	6.6
生産	1,390.0	1,592.0	1,895.0	1,870.0	2,000.0	2,340.0	11.0
PETチップ輸入	12.0	15.0	27.8	22.8	25.0	21.7	12.6
PETチップ輸出	52.0	60.0	82.0	95.7	68.0	7.1	-32.9
稼働率	67.6	76.0	84.0	77.0	78.0	85.0	4.7

### 2. ポリエステル長繊維

2010年のポリエステル長繊維の生産能力は年産2,027万ト。うち870万トが直紡、300万トがチップ紡、100万トが産資用長繊維となっている。またPOYが60%、FDYが33%、その他が7%という構成である。

生産能力は2000年～2005年にかけて急拡大を遂げ、この間年平均24.2%増のハイペースで拡大。452万トから1,334万トに拡大した。2005

年以降は増設ペースが沈静化し、年率 8.7% で拡大している。

2010 年の生産は 1,510 万ト。2005 年からの成長率は年率 14%。稼働率は大增設後の 2005 年は 60% 台を割ったが、2006 年・2007 年と稼働率を上げた。2008 年・2009 年は世界金融不況の影響で稼働率を下げたが、2010 年は 76.9% に上昇した。

輸入は自給化の進展で減少傾向が続いている。一方、輸出は拡大傾向を続け、2005 年の 25.5 万トから 2010 年は 80.8 万トに年率 26% のペースで拡大している。2010 年の輸出比率は 5.3% である。中国は 2006 年にポリエステル長繊維の出超国となり、それ以来出超幅を拡大している。

2010 年のミル消費は 1,444 万ト。この 5 年間の成長率は年率 12.9%。

表 2 中国のポリエステル長繊維需給

	(万ト、%)						
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	05-10年率
生産能力	1,334.0	1,483.0	1,659.5	1,747.5	1,899.5	2,026.6	8.7
生産	784.8	991.3	1,217.9	1,283.0	1,320.0	1,510.0	14.0
稼働率	59.6	70.4	77.5	75.3	72.4	76.9	5.2
輸入	29.0	26.5	24.4	17.2	16.8	16.5	-10.6
輸出	25.5	39.3	62.5	79.5	62.3	80.8	26.0
ミル消費	788.3	978.5	1,179.8	1,220.8	1,274.5	1,444.5	12.9

産資用ポリエステル長繊維(強力糸)の需給は以下の通り。輸出が急増しているのが特徴で、2010 年の輸出は 20.9 万ト、輸出比率は 27.9% となっている。輸出の 4 割が EU 向けであるが、EU は 2010 年 12 月、中国産の産資用ポリエステル長繊維に対しアンチダンピングを最終決定している。

表 3 中国の産資用ポリエステル長繊維需給

	(万ト、%)			
	2007	2008	2009	2010
生産能力	51.8	65.5	75.5	111.0
生産	44.4	50.0	58.0	75.0
輸入	3.0	3.0	2.8	2.5
輸出	11.7	16.7	13.3	20.9
ミル消費	35.7	36.3	47.5	56.6

### 3. ポリエステル短繊維

ポリエステル短繊維の生産能力は 2010 年で直紡が約 500 万ト/年強である。直紡の生産能力は 2002 年の 200 万ト強から 2005 年の 500 万ト弱に拡大して以来、ほぼ横ばいで推移している。リサイクル繊維の増加や採算性の悪さから投資が抑制されたためである。

直紡による生産は 2008 年、2009 年と 350 万トﾝ程度であったが、2010 年は綿花価格の高騰を背景とした需要増により 400 万トﾝに増加。稼働率は 2009 年の 60% 台から 2010 年は 80% に改善した。

一方、リサイクル繊維の生産能力は年率 15～20% の割合で拡大を続け、2010 年には年産 1,100 万トﾝを超えたと見られている。生産量は未詳である。

ポリエステル短繊維（バージン＋リサイクル）の輸出は 58.4 万トﾝで史上最高を記録した。輸入は、2000 年の 60 万トﾝ超から 2010 年は 14.2 万トﾝに縮小。自給化の進展で減少傾向が続いている。

（担当： 杉原）